

【30代、40代男性の肌悩みについて調査】

前年比163%と成長を続けるメンズスキンケア市場に30代、40代男性が大きく影響？

最も多い肌悩みは「クマ」という結果に！

日頃のスキンケアが最も重要？ドクターがおすすめするケア方法とは！？

アンファー株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:叶屋宏一、以下「アンファー」)は、コロナ禍でのマスク生活が3年目に突入する中、30代~40代の男性463人を対象に、顔や目元の肌悩みについて調査を実施いたしました^{※1}。調査の結果、30代、40代の男性は顔や目元の肌悩みとして、「クマ」に悩んでいる人が最も多いということがわかりました。今回は、あわせてドクターが教えるおすすめのケア方法も紹介します。

※1 アンケート調査:2022年9月実施、30~49歳男性463名



■30代、40代男性の肌悩み第1位は「クマ」という結果に！

メンズコスメ市場は、コロナ禍でのマスク生活やオンライン会議等の影響で前年比163%と拡大しています^{※2}。これまでは、マスクによる肌荒れやメイク需要など10代、20代の若年層の男性を中心に市場をけん引していましたが、現在は30代、40代の中高年の男性も市場拡大に大きく影響しています。実際に、アンファーのメンズスキンケア商品の購入者データを見てみると、30代、40代男性のスキンケア商品の購入金額は前年同月比199%と推移しています^{※3}。

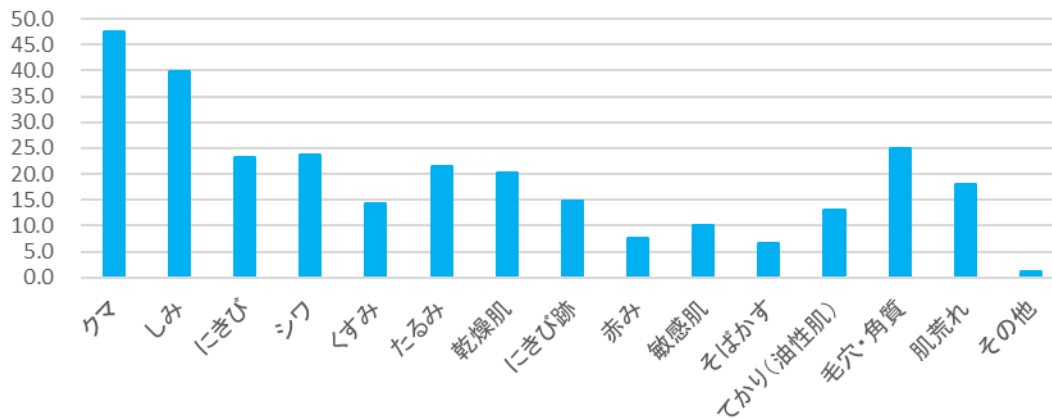
そこで、30代、40代の中高年の男性のメンズコスメ商品の購入理由を探るべく、現在抱えている肌悩みについて調査いたしました。調査の結果、30代、40代の男性は「クマ」に悩んでいる人が最も多いということがわかりました。10代、20代の主な肌悩みとしてはニキビや肌荒れという声が多いですが、30代、40代の男性は長年のマスク生活でより目元を気にする人が多い影響か、約7割の人が目元の印象が重要だと回答しています。「クマ」は、顔の印

象や見た目年齢などにも大きく影響するため、気にされている方が非常に多い結果となりました。

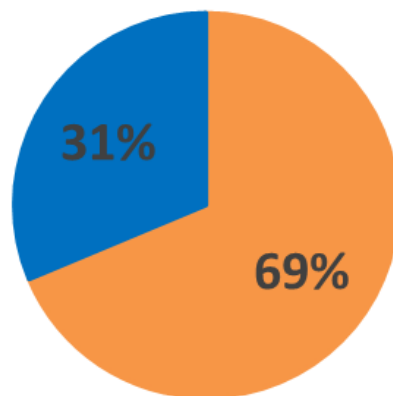
※2 富士経済「化粧品マーケティング要覧2022 No.2」メンズ整肌料(2021年と2022年予測の比較)

※3 30代、40代男性のDISM(ディズム)、permuta(ペルムータ)商品購入金額の2021年8月と2022年8月の比較

あなたが気になる顔の肌悩みとして
当てはまるものを教えてください。



マスク生活が続く中
目元の印象は重要だと思いますか。



■そう思う ■そう思わない

■ドクターがおすすめるケア方法

Dクリニック東京 PLUS

樋口 彩子(ひぐち あやこ)医師

顔の中でも、第一印象を大きく左右するのが目もとのクマです。それだけで顔全体が暗く見え、年齢よりも老けて見えてしまったり、疲れた印象を与えてしまったりと、見た目年齢も老けさせてしまいます。目の下にクマがしやすいのは、顔の他の部分に比べて皮膚が薄く、とてもデリケートなためです。そのため、皮膚の下の血管が透けて見えたり、ちょっとした刺激でダメージを受けたりしやすいです。クマには大きく分けて3つのタイプ「青クマ」「茶クマ」「黒クマ」があり、原因もそれぞれ異なります。まずは自分のクマの状態をしっかりと見極めましょう！



青クマ

青クマは目もとの血行不良が原因です。睡眠不足や疲れ、ストレスが原因となって血行不良を起こすと血液が酸素不足になり、青黒くなった血管が透けて見えます。また、長時間のパソコン作業やスマートフォン操作で目を酷使している人、冷え性の人なども青クマになりやすいです。対策としては、睡眠をしっかりとると共に、目もとを温めたり、マッサージを行ったりして血行を良くするのが効果的です。スマホやパソコンの長期使用を避けることも大切です。

茶クマ

目の下が茶色くすんで見える茶クマは、肌の色素沈着が原因です。紫外線などのダメージによってできたシミや、目をこすることによっておこる色素沈着・目の下の皮膚が厚くなってお肌がくすんでしまうことが関係しています。洗顔の際、強い力でこするの禁物です。対策としては、保湿をしっかり行う、ビタミンCなどが配合された美白効果のある化粧品でスキンケアするのが効果的です。また、夏だけではなく年間通じて紫外線対策も行いましょう。

黒クマ

目の下に影ができることで黒く見えるクマは、目の下の脂肪が原因です。年齢と共に肌のハリ・弾力が低下したり、目の周りの筋力が衰えたりすることで、目元にシワ・たるみができ、影＝黒くまができてしまいます。むくみ加わることさらに目立ちます。対策としては、アイクリームや美容液でハリを与えたり、目元の保湿を行いましょう。また、目の周りのマッサージや日焼け止めを塗ることも大切です。

アンファー株式会社について

アンファー株式会社は、1987年に会社設立。「予防医学」をタグラインに掲げ、“「いつまでも美しく、健やかに生きる」というエイジングケア・ライフスタイルの実現を目指す”トータルヘルスケア・カンパニーです。多くの医師や臨床機関・研究機関との密接なリレーションを構築しながら、「スカルプD」シリーズをはじめ、化粧品、食品等、様々なエイジングケア商品・サービスの企画・研究開発および販売を行っております。2019年4月10日より、“Dクリニックグループ”※に参画しました。

※Dクリニックグループは、「医学」を背景として、共通の目的と理念を実現するために、企業、クリニック、NPO法人団体等により発足したグループです。

【報道関係者お問合わせ先】

アンファー株式会社 PR課
TEL:03-3213-8882 FAX:03-3215-6155
Email:pr1@angfa.jp

【お客様からお問合わせ先】

アンファー株式会社
〒100-7026 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー26F
TEL:0120-722-002 [営業時間:午前9時～午後9時(年中無休)]